

2025年12月期 第2四半期

決算説明資料

2025年8月



東京証券取引所

<証券コード：8508>

免責事項および注意事項

- ◆ 本資料に記載された将来情報等は資料作成時点での当社の認識、意見、判断又は予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 説明会および本資料は、当社をご理解いただく為の情報提供を目的としたものであり、当社又は子会社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、正確性を期す為に慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって、生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ◆ セグメント収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んだ営業収益を表示しています。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益を当期純利益と表示しています。
- ◆ 2025年12月期 第2四半期連結累計期間(以降「2025/2Q」という)において、Prospect Asset Management, Inc.およびJ Trust Credit NBFiを非継続事業に分類しております。その為、2024年12月期 第2四半期(以降「2024/2Q」という)の「営業収益」「営業利益」「税引前利益」については、組替えて表示しております。
- ◆ 韓国及びモンゴル金融事業で金融事業を営んでおりましたJ Trust Credit NBFiの全株式を譲渡し、連結の範囲から除いたことにより、セグメントの名称を「韓国及びモンゴル金融事業」から「韓国金融事業」に変更しております。

2025年12月期 第2四半期決算のポイント

**セグメント毎に強弱はあるものの、
営業利益が計画比8億円の上振れ
⇒金融3事業が牽引**

**前年同期比約2.3倍の45億円で着地
⇒特に韓国金融事業の業績改善が進む**


**当社のサステナビリティへの取り組みが評価され、
ESG指数(環境・社会・ガバナンス)の構成銘柄に初選定**

ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に初選定

➤ 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG投資におけるパッシブ運用のベンチマークの一つとして採用する「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に初めて選定されました

⇒当社グループは気候変動リスクと機会への対応、人権の尊重、腐敗防止、地域社会への貢献、コーポレートガバナンスの強化等、さまざまな社会課題の解決に向けた取り組み・活動をしており、このような当社のサステナビリティへの取り組みが評価され、今回の選定に至ったものと考えております

■「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」について

	 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
指数の コンセプト・特徴	<p>FTSE Blossom Japan Indexと同じFTSE RussellのESG評価をベースに、一部のカーボンインテンシティ(売上高あたり温室効果ガス排出量)が高い企業については、企業の気候変動リスク・機会に対する経営姿勢も評価に反映</p> <p>業種内でESG評価が相対的に高い銘柄を組み入れ、最後に業種ウェイトで中立化</p>
指数構築	選別型 (ベストインクラス)
指数組入候補 (親指数)	FTSE JAPAN ALL CAP INDEX [1,431銘柄]
指数構成銘柄数	663
運用資産額(億円)	13,980

※GPIF「2024年度 業務概況書」より引用

■ ESGをテーマとした当社の公表情報の一部

E (Environment) 環境 <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境への取り組み ・気候変動への対応 ・CO2排出量の実績と削減目標 	G (Governance) ガバナンス <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスの基本的な考え方 ・コンプライアンス体制 ・コンプライアンス啓蒙活動 ・贈収賄の禁止 ・腐敗防止の取り組み ・コンプライアンス相談窓口 ・コンプライアンス事案への対応 ・外部通報制度 ・罰金・和解金 ・政治献金
S (Social) 社会 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンボンド・ソーシャルボンド等への投融資 ・環境・社会に配慮した預金プログラムの実施 ・人権の尊重の基本的な考え方 ・現地雇用の方針 ・従業員への取り組み ・社会関連データ ・ダイバーシティ推進の取り組み ・社会貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> →主な重点分野と事業の関わり →地域社会への取り組み →社会福祉への取り組み 	<p>◆サステナビリティの活動に関する詳細は、当社ウェブサイトにて公開しております。 https://www.jt-corp.co.jp/sustainability/</p> 

今後もJトラストは、当社グループの強みである金融事業をはじめとする事業活動を通じて社会課題の解決に努め、企業価値の向上を目指してまいります。



- 01 | 2025年12月期 第2四半期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 第2四半期 セグメント別業績と取り組み
- 03 | 2025年12月期 第2四半期 株主還元およびIR活動について

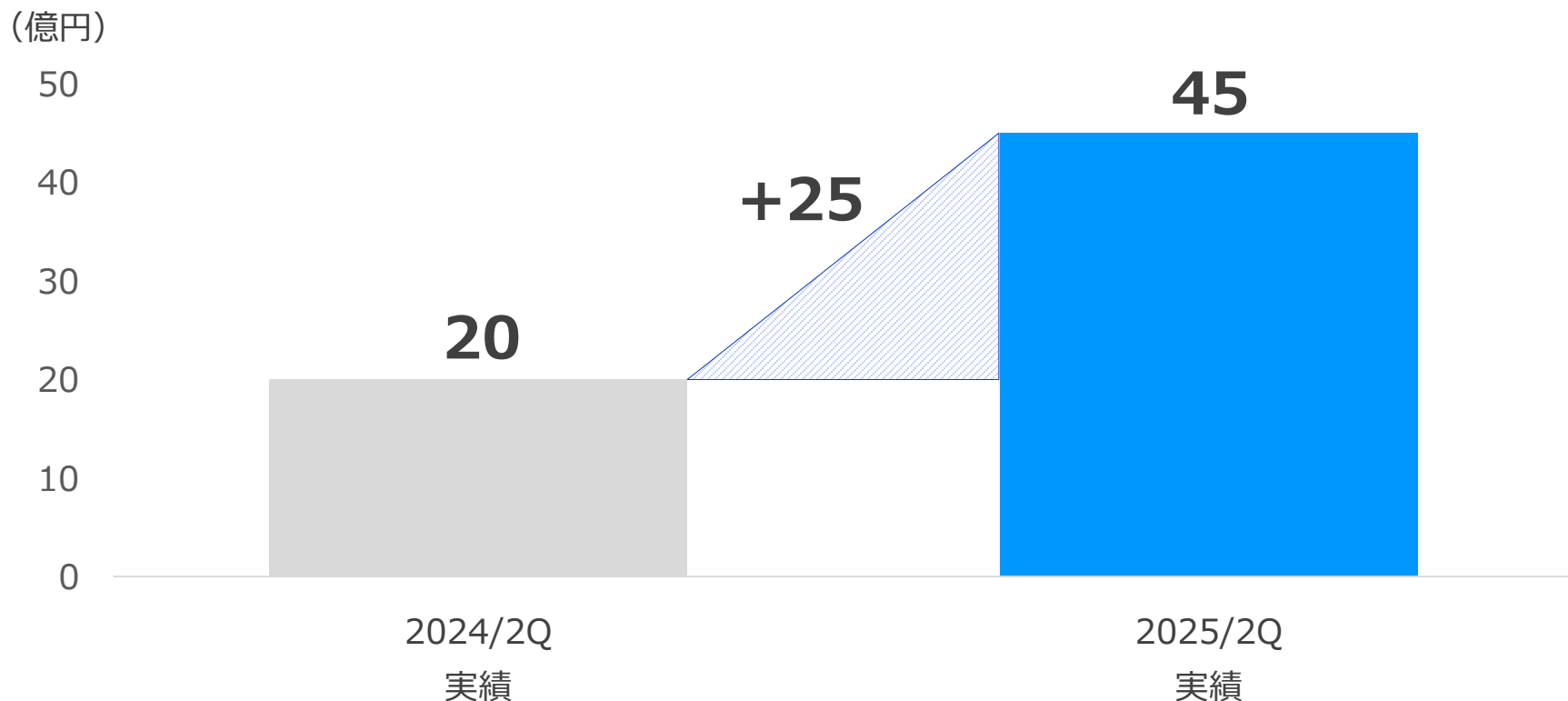
2025年12月期 連結経営成績

	2025/2Q 《実績》
営業収益	607億円
営業利益	45億円
税引前利益	38億円
当期純利益	13億円

連結営業利益（前年同期比）

- 営業利益は前年同期比約2.3倍の45億円で着地
- 通期計画の111億円および3か年計画(2025.12~2027.12)の達成に向けて順調に成長

営業利益（累計）



(※)億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

事業セグメント別営業利益（前年同期比）

➤ 韓国金融事業は預貸スプレッドの改善と貸倒関連費用の抑制により、大幅改善

	2024/2Q 《実績》営業利益	2025/2Q 《実績》営業利益	前年同期比
日本金融事業	33億円	35億円	+2億円
韓国金融事業	-13億円	5億円	+18億円
東南アジア 金融事業	14億円	15億円	+1億円
不動産事業	3億円	-0億円	-3億円
投資事業	-6億円	-0億円	+6億円

(※)億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

事業セグメント別営業利益（計画比）

➤ 金融3事業が計画値を上回り、連結業績を牽引

	2025/2Q 《計画》営業利益	2025/2Q 《実績》営業利益	計画比
日本金融事業	33億円	35億円	+2億円
韓国金融事業	-4億円	5億円	+9億円
東南アジア 金融事業	9億円	15億円	+6億円
不動産事業	7億円	-0億円	-7億円
投資事業	3億円	-0億円	-3億円

(※)億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

連結決算概要（前年同期比・計画比）

- 不動産事業において、販売用不動産における販売収益が減少したこと等により、減収
- 当期純利益は、為替相場が円高に振れ、外貨建て資産負債の評価替えによる為替差損を計上したこと等により、前年同期比減益

	2024/2Q 《実績》	2025/2Q 《実績》	前年同期比	2025/2Q 《計画》	計画比
営業収益	653億円	607億円	-46億円	660億円	-53億円
営業利益	20億円	45億円	+25億円	37億円	+8億円
税引前利益	41億円	38億円	-3億円	42億円	-4億円
当期純利益	27億円	13億円	-14億円	16億円	-3億円

(※)億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。



- 01 | 2025年12月期 第2四半期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 第2四半期 セグメント別業績と取り組み
- 03 | 2025年12月期 第2四半期 株主還元およびIR活動について



日本金融事業

Financial business in Japan



日本保証

PARTIR
パルティール債権回収株式会社



Nexus Card

 MIRAI



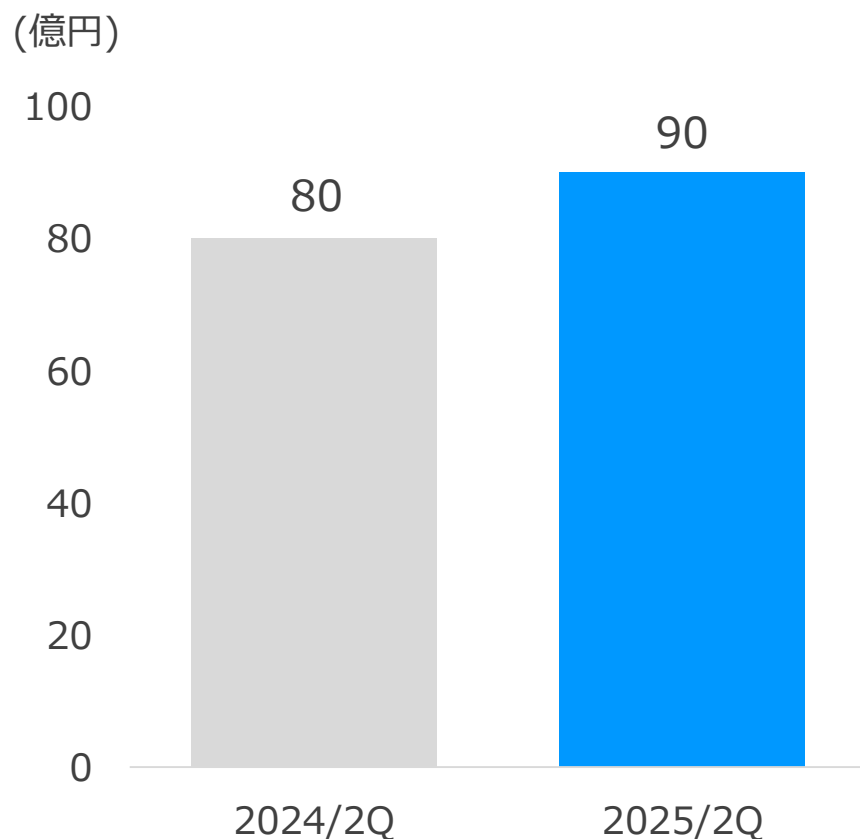
JTG証券

Jトラストグローバル証券

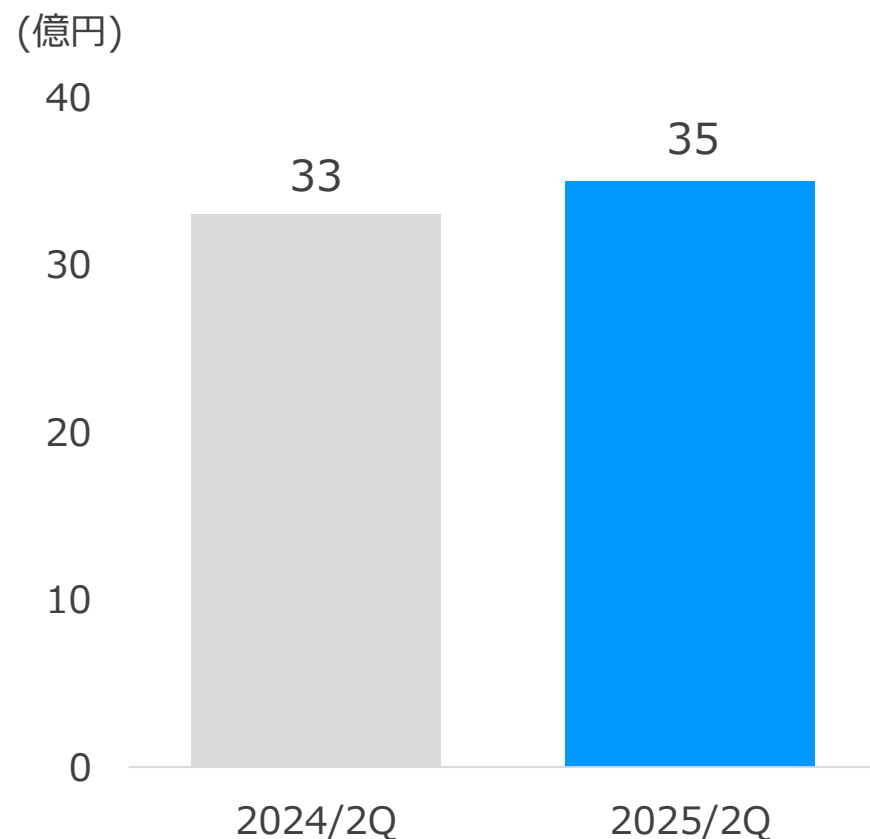
日本金融事業の営業収益と営業利益（前年同期比）

- 保証事業とサービス事業の好調持続に加え、証券事業と割賦事業による手数料収益の増加により、増収増益
- 引き続き、グループシナジーによる安定成長を図る

営業収益



営業利益

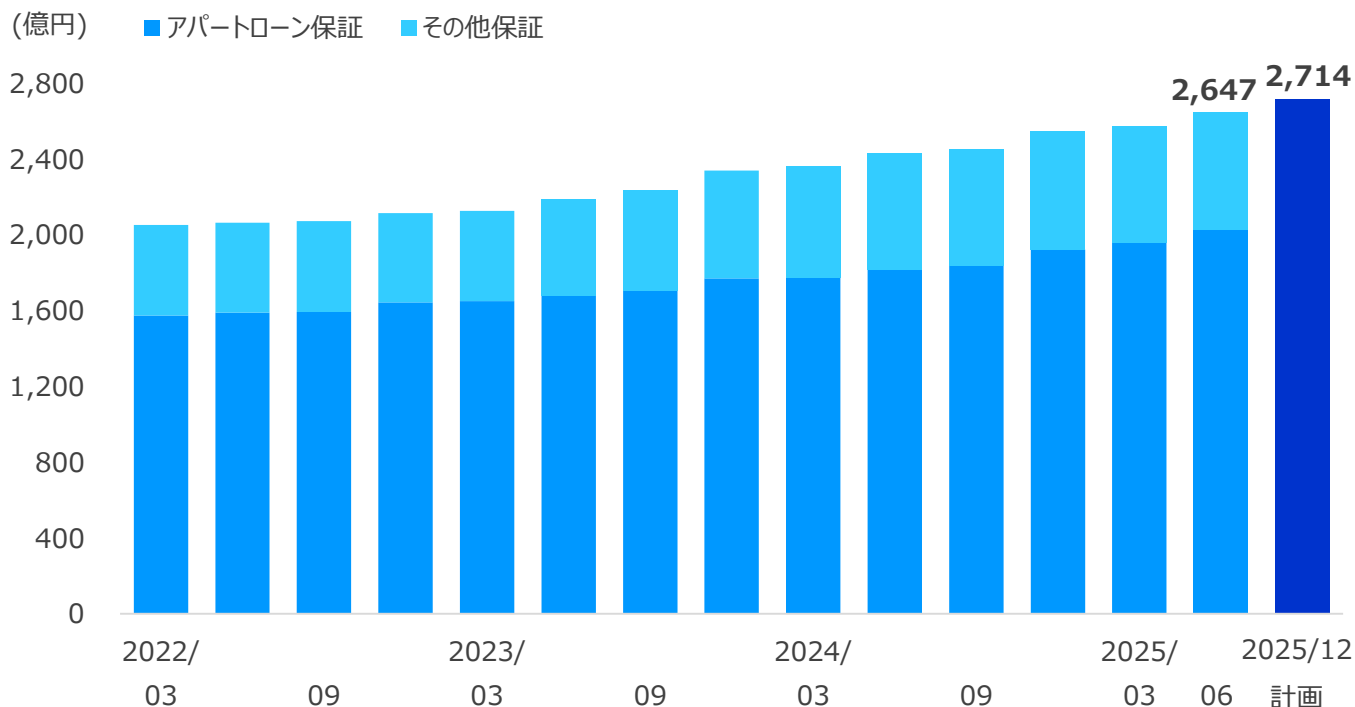


債務保証残高の推移

- 債務保証残高は、アパートローンおよび海外不動産担保ローン、有価証券担保ローン※の保証が好調で計画達成に向けて、順調に伸長
- Nexus Cardの加盟店である(株)クリアと脱毛業界初となる「前払金保証」サービスを7月に開始し、債務保証残高の更なる増加を図る

※提携先金融機関とトラストグローバル証券、日本保証の3社協業によるローン

債務保証残高



(※) 債務保証残高は、保証債務総合計の数値



「前払金保証」サービスについて

近年、医療脱毛クリニックやサロンの経営不振による施術不能・返金トラブルが多く報道され、こうした不安を解消するため、日本保証は提携先企業(クリニック等)の経営状況を精査した上で、前払金保証サービスを開始。万が一、クリニックが施術提供できなくなった際に、未施術分の代金(契約書に記載の中途解約時の返済金相当額)を日本保証が返金する契約付常型の保証サービス。

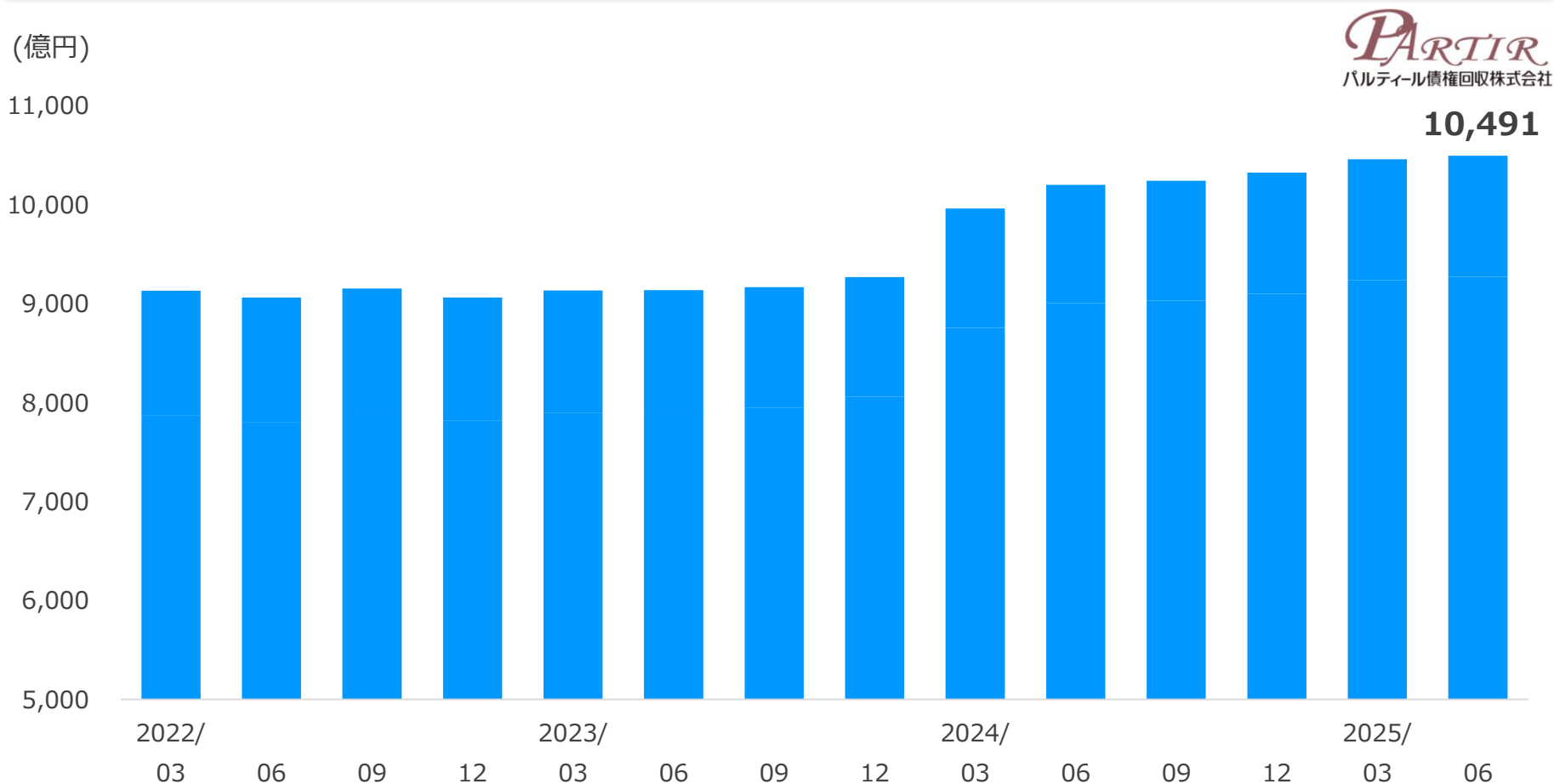


【本件に係る提携先企業】

- ・株式会社クリア
(メンズクリア、ストラッシュ)
- ・医療法人誠崇会
(レジーナクリニック、レジーナクリニックオム、エトワールレジーナクリニック)
- ・医療法人おきまる会
(フレアクリニック、フレアクリニックメンズ)

請求債権残高の推移

- 順調に回収が進む中でも債権購入が進み、請求債権残高は微増
引き続き、回収業務に注力し、営業利益増大を見込む

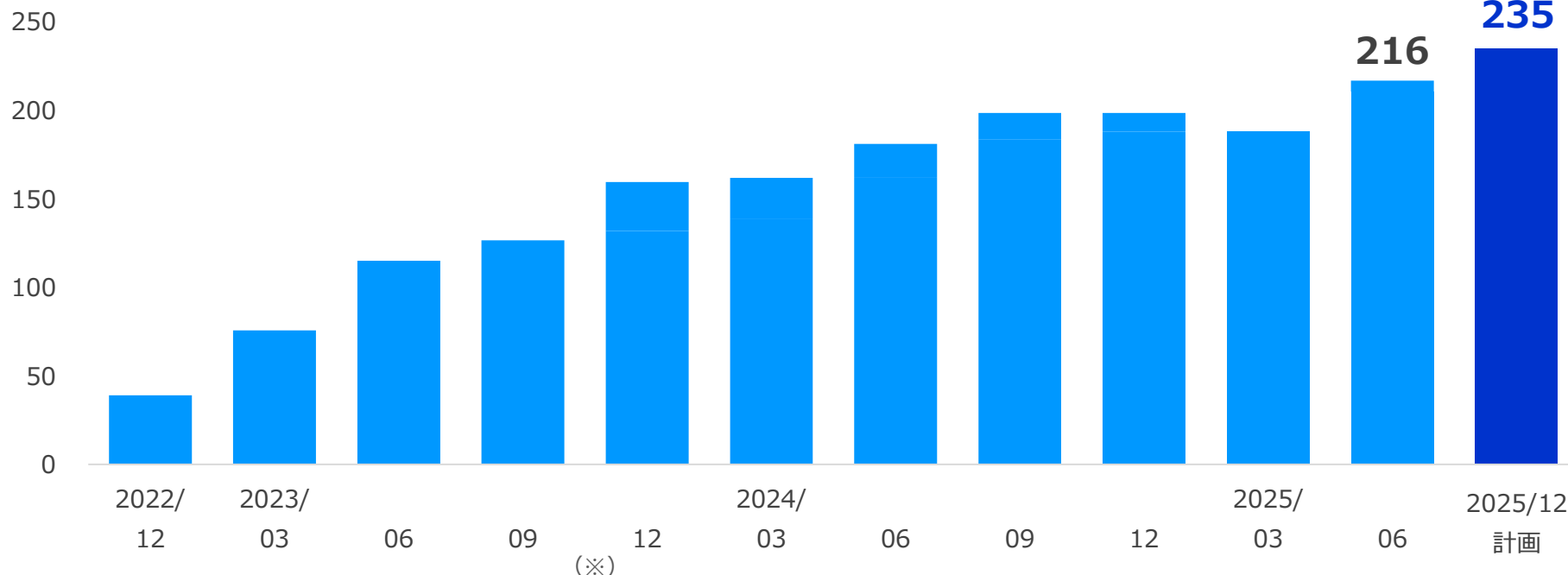


割賦売掛金残高の推移

- 新規加盟店である「レジーナクリニック」「フレイアクリニック」の割賦取扱拡大により、割賦売掛金の残高は堅調に推移
- 脱毛業界の繁忙期である第2四半期から第3四半期においてさらなる残高の増大を見込む
- 7月より開始した、日本保証の「前払金保証」サービス開始により、中長期的な割賦取り扱いの拡大や継続的な割賦取り扱いの安定化につながるものと想定

(億円)

 Nexus Card  MIRAI

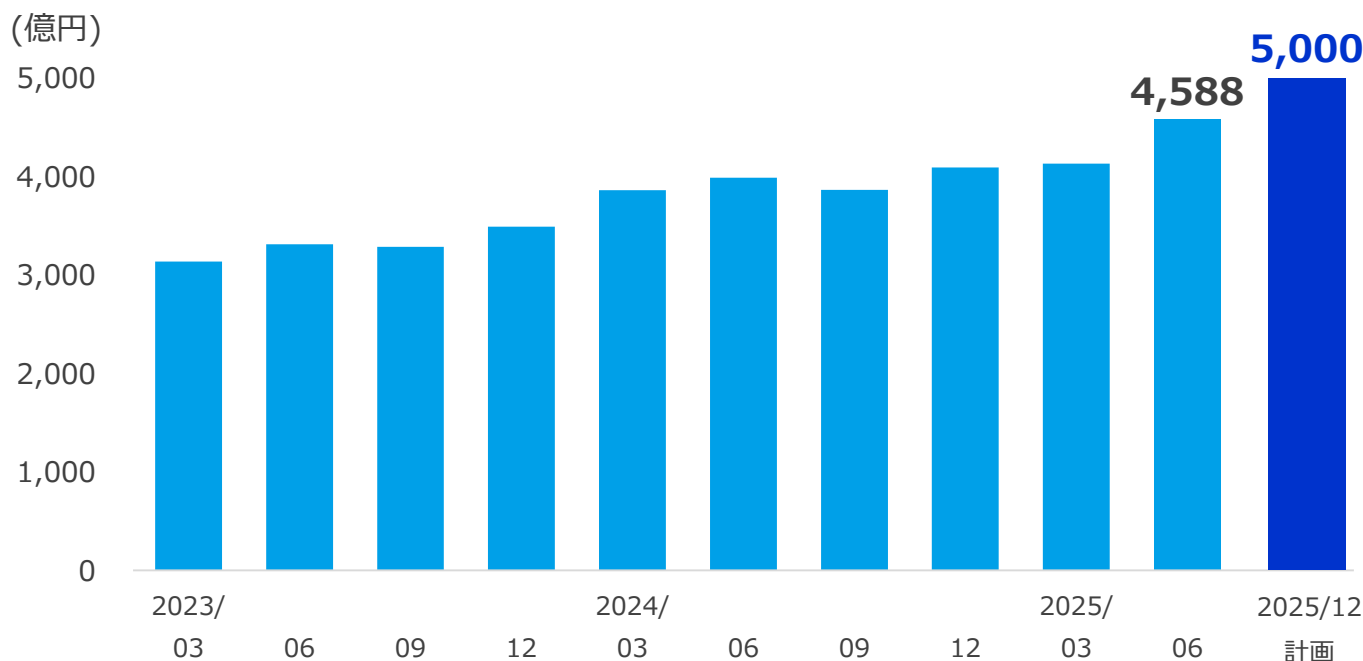


(※) MIRAIは2023年10月より連結子会社化

預かり資産の推移

- 2025年6月単月の営業収益が、2014年12月以来の過去最高となる
⇒堅調な株式市場により、取引量が拡大したことに加え、6月の外国債券販売額が前月比70%増となった為
- コアターゲットである富裕層顧客※からの資産導入が好調に推移し、預かり資産は順調に増加
⇒2025年6月末時点、富裕層顧客の預かり資産2,895億円（前年同月比570億円増）
- 米国株おまかせ運用の「WEALTH GROWTH（ウェルスグロース）」に、新たに日本株コース『SAMURAI 25』を追加、8/1より提供開始

※JTG証券では、金融資産もしくは預かり資産が1億円以上の顧客を「富裕層顧客」と定義



JTG証券
Jトラスト グローバル証券



『SAMURAI 25』は、ビッグデータの活用により、成長性・収益性等に優れた日本企業から厳選された約25銘柄で構成されるポートフォリオにより、TOPIXを上回る投資リターンの実現を目指す、日本個別株の投資一任運用サービス



韓国金融事業

Financial business in South Korea

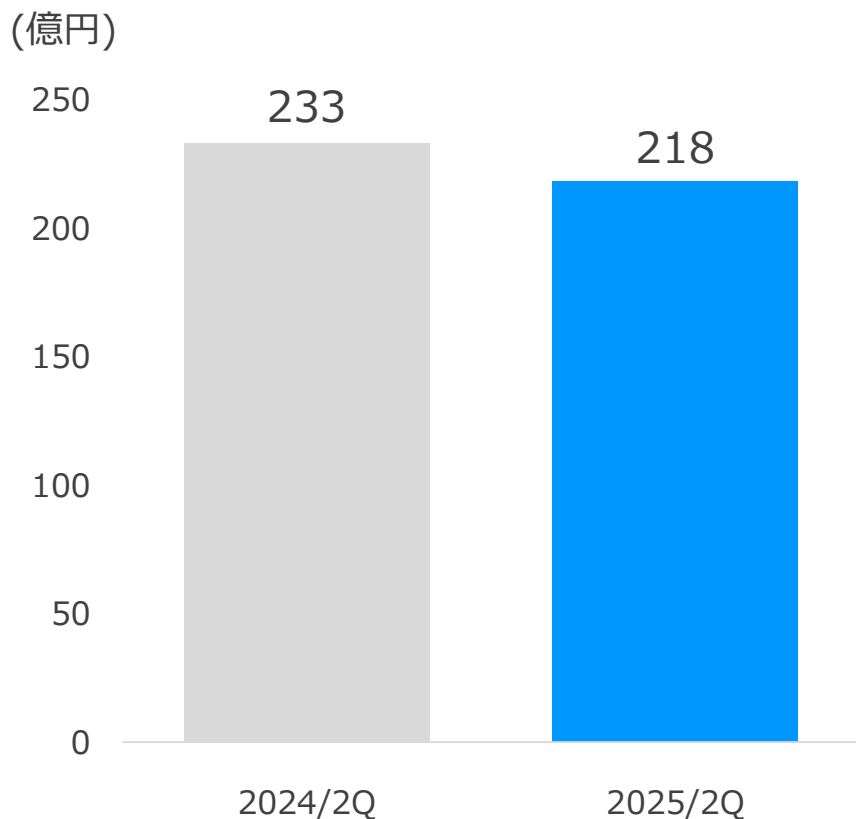
 JT 親愛貯蓄銀行  JT 貯蓄銀行

 Jump Tomorrow
TA Asset

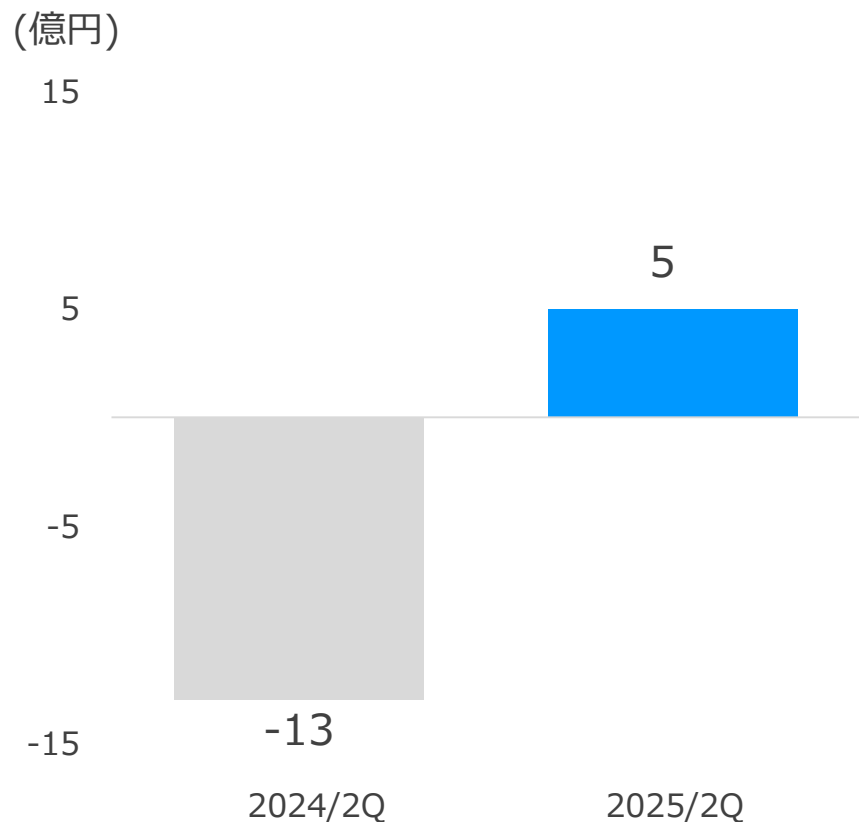
韓国金融事業の営業収益と営業損益（前年同期比）

- 貯蓄銀行業において、為替が円高に振れたことに伴い、円換算後の貸出金利息収入が減少したこと等により、減収
- 貸倒関連費用の減少等により、前年同期比18億円改善し、計画よりも前倒しで黒字転換

営業収益



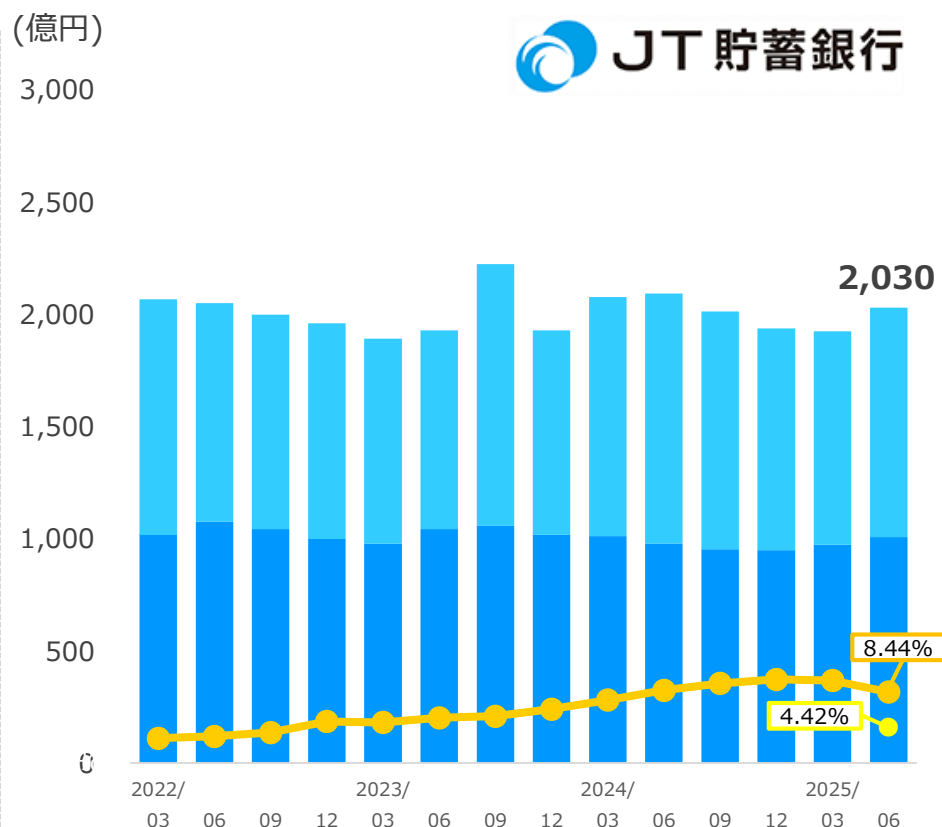
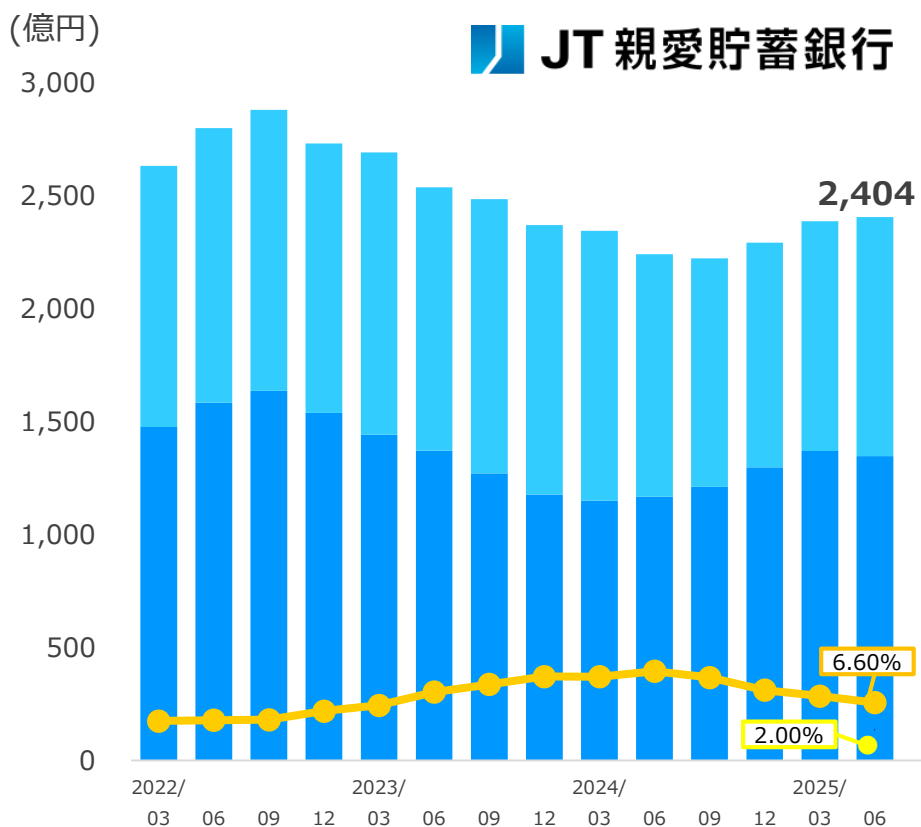
営業損益



韓国の貯蓄銀行2行の貸出残高と不良債権比率の推移

- 貸出残高は安定的な増加を目指す
- 不良債権に対しては、十分な担保設定と貸倒引当金で対応済

■ 個人向け ■ 法人向け —●— 不良債権比率（グロス/90日以上延滞債権） ● 不良債権比率（ネット）



(※) 数値は現地通貨に2025年6月末レート（1韓国ウォン=0.1067円）を乗じて表示



東南アジア金融事業

Financial business in Southeast Asia

 **J TRUST BANK**
Jトラスト銀行

 J Trust Royal Bank

 **J TRUST INVESTMENTS**
Indonesia

 **TA Asset**
PT TurnAround Asset Indonesia

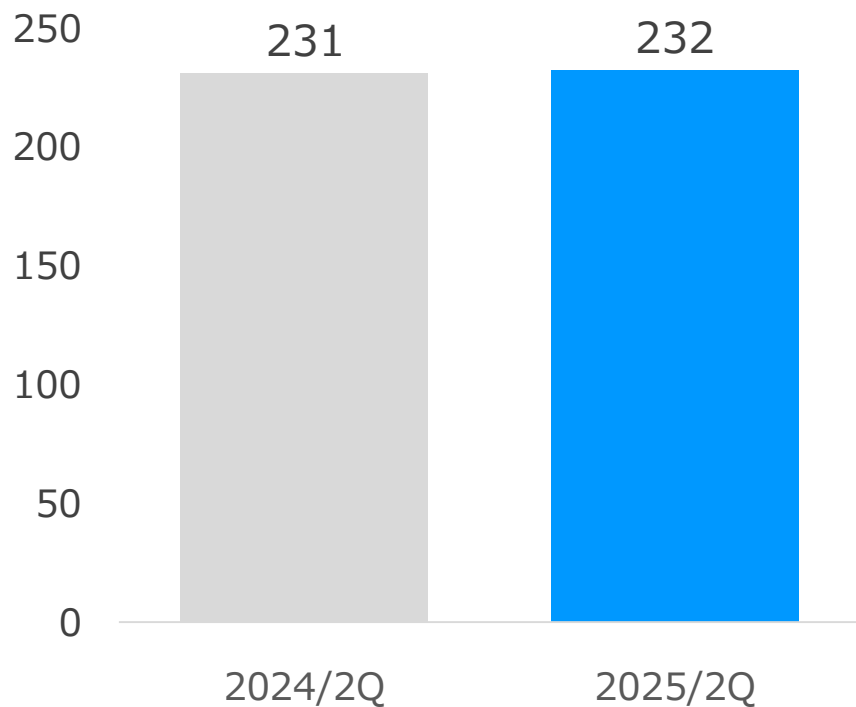
 **J TRUST CONSULTING**
Indonesia

東南アジア金融事業の営業収益と営業利益（前年同期比）

➤ 営業収益、営業利益はともに、前期実績とほぼ同水準

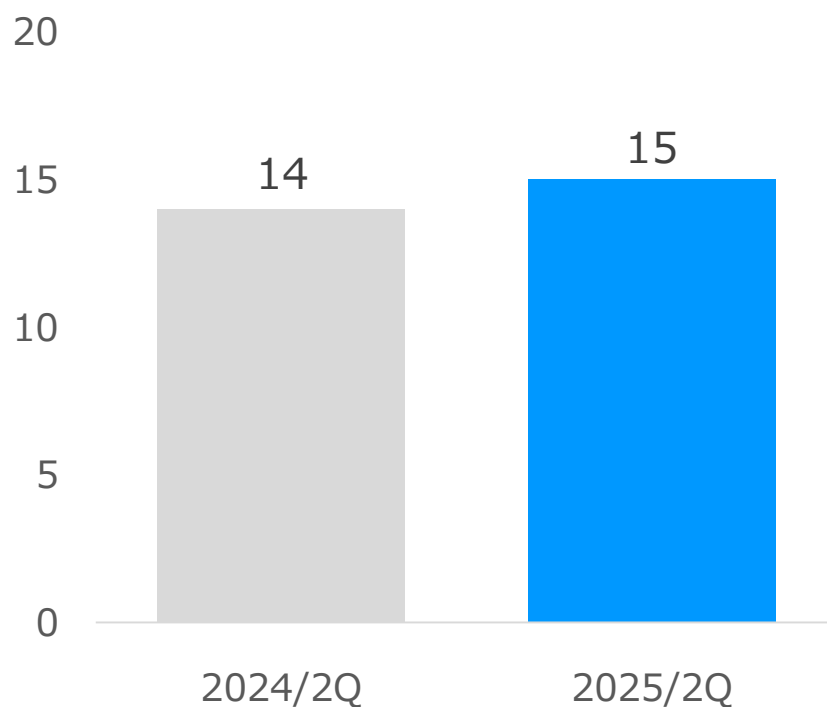
営業収益

(億円)



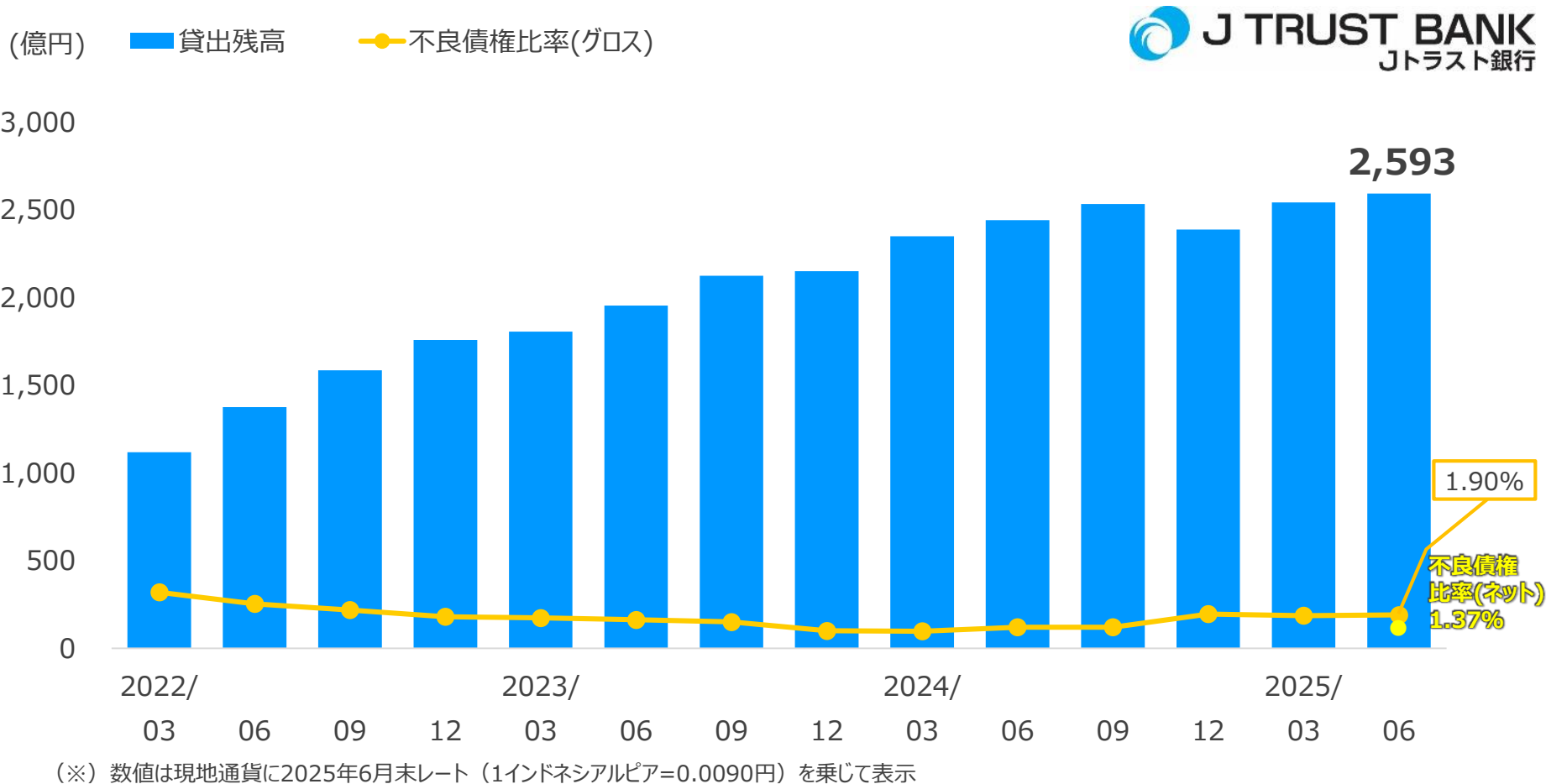
営業利益

(億円)



Jトラスト銀行インドネシアの貸出残高と不良債権比率の推移

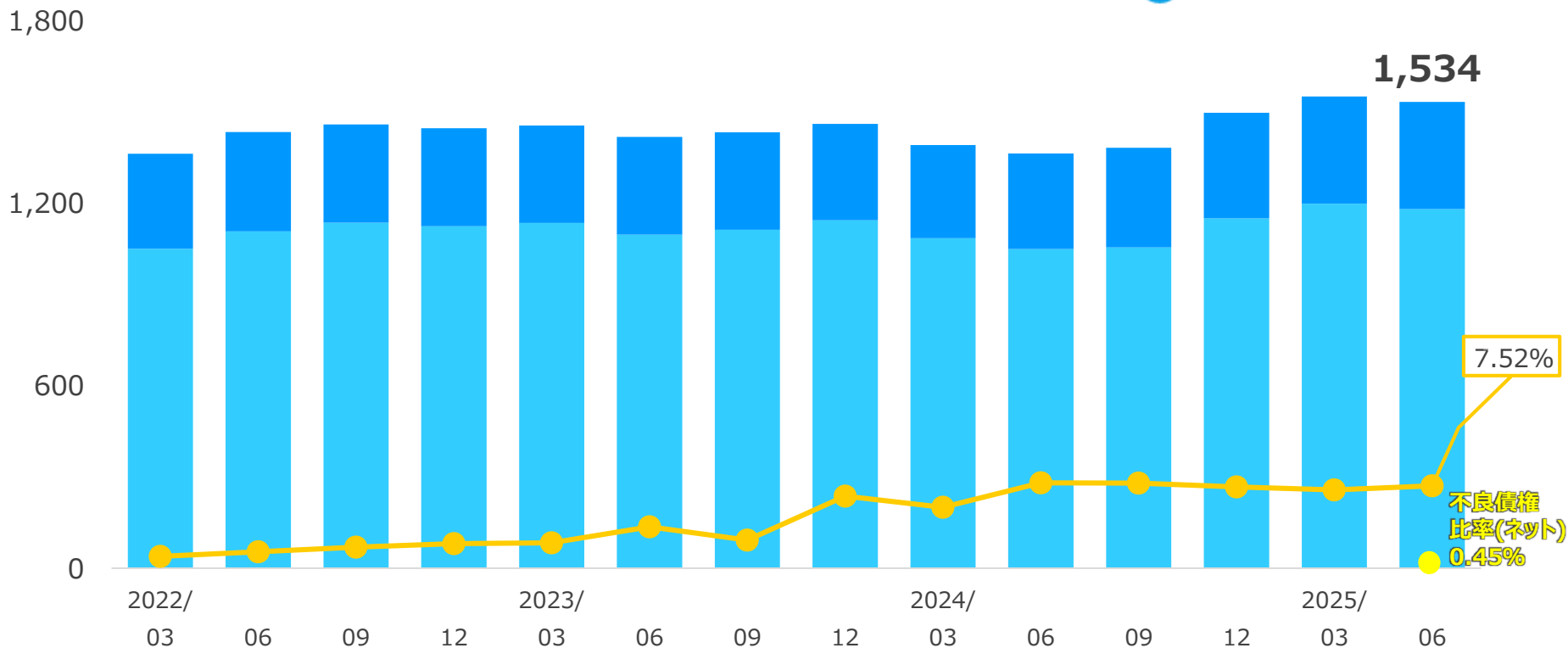
- 今期に入り、自己資本比率を見ながら、残高およびポートフォリオの中身をコントロール
- 増資について、実行済と見込みで十数億円を確保



Jトラストロイヤル銀行(カンボジア)の貸出残高と不良債権比率の推移

- 2026年度から予定されているカンボジア中央銀行による、自己資本比率規制の遵守体制を見据え、貸出残高とポートフォリオの中身を調整
- 不良債権に対応した貸倒引当金を計上し、ネットの不良債権比率は0.45%と低位で推移

(億円) ■ 法人向け ■ 個人向け —●— 不良債権比率（グロス/90日以上延滞債権）



(※) 不良債権比率は、NBC(カンボジア中央銀行)への報告数値

(※) 数値は現地主要流通通貨(USドル)に2025年6月末レート(1USドル=144.81円)を乗じて表示



不動産事業

Real Estate business

 J-GRAND

 gro-bels

 ライブレント

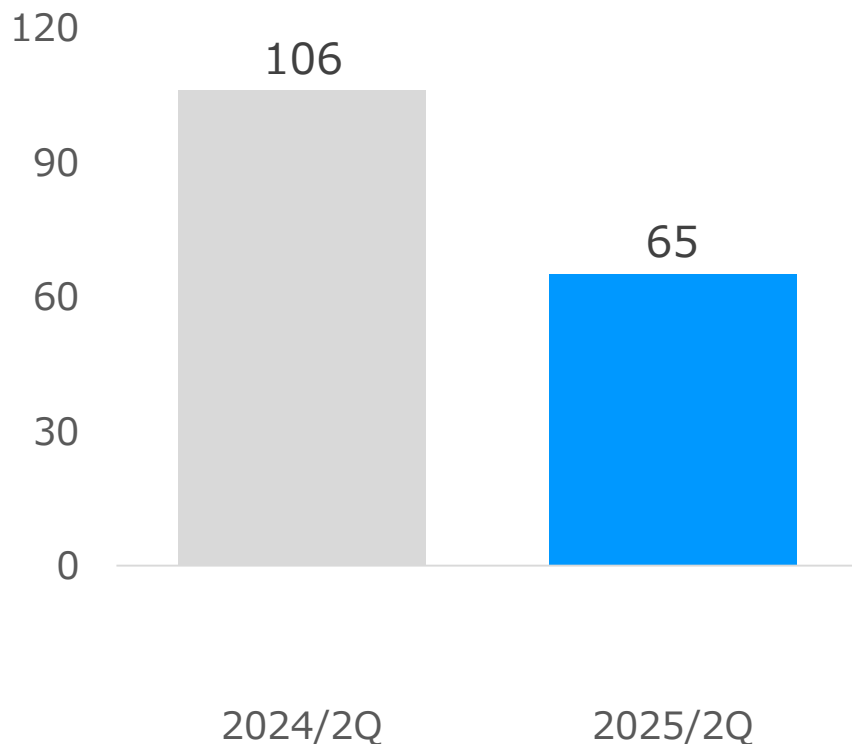
 グランド保証

不動産事業の営業収益と営業損益（前年同期比）

- 上期に販売予定であった物件の売却が下期以降にずれ込む等、販売収益が減少したことにより、減収減益

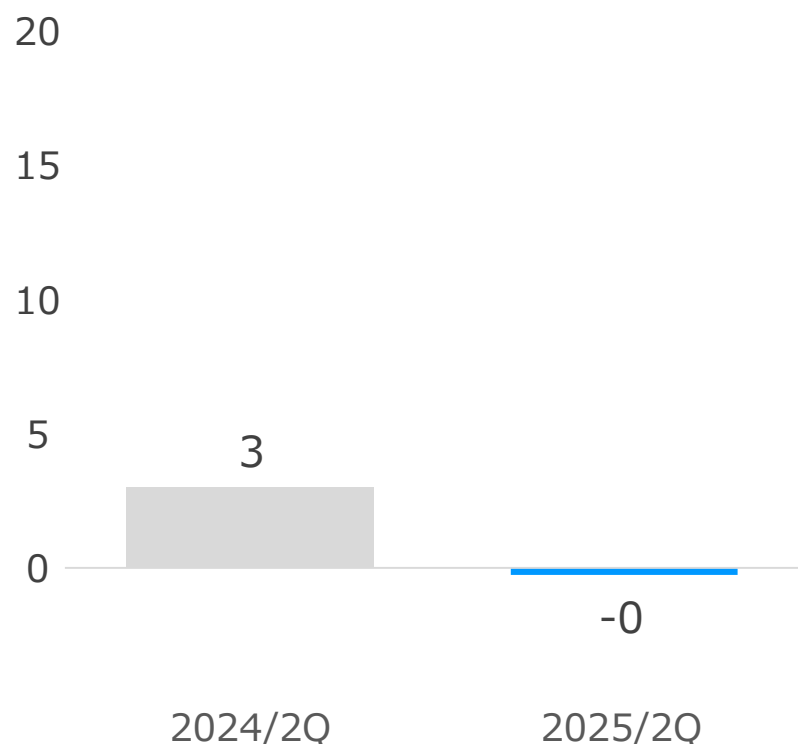
営業収益

(億円)



営業損益

(億円)





投資事業

Investment business

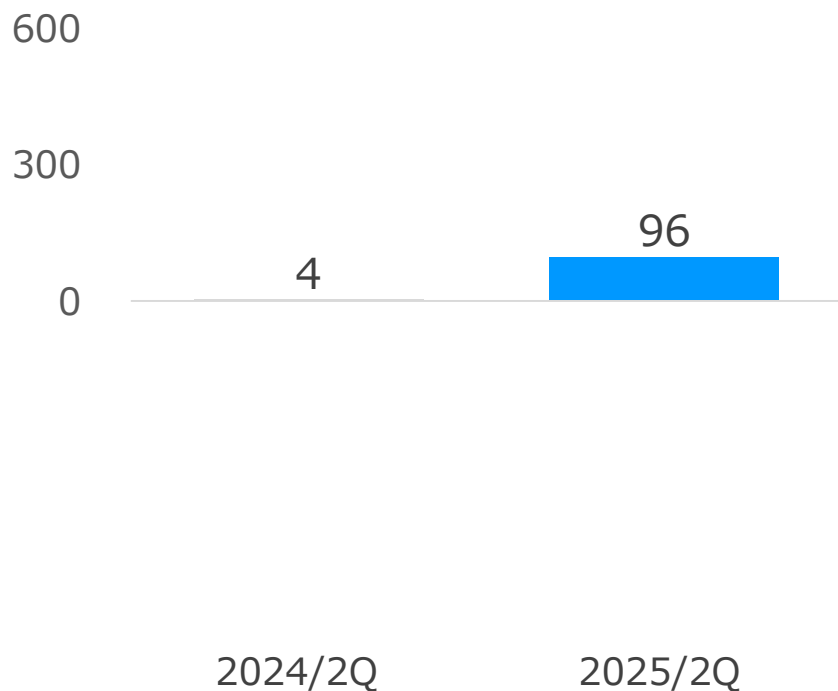
 J TRUST ASIA

投資事業の営業収益と営業損失（前年同期比）

- シンガポール高等法院の勝訴判決に基づく債権回収および弁護士費用の減少により、損失幅が圧縮
- 今期7.5億円の回収計画は1Qに既に回収済、引き続き鋭意回収を進める

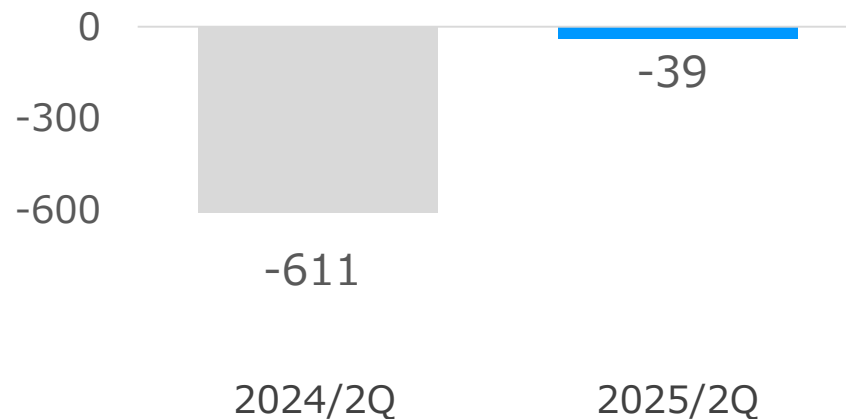
営業収益

(百万円)



営業損失

(百万円)





- 01 | 2025年12月期 第2四半期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 第2四半期 セグメント別業績と取り組み
- 03 | 2025年12月期 第2四半期 株主還元およびIR活動について

2025年12月期(6月末) 株主優待について

- 6月末時点で100株以上保有の株主※へ、株主ご優待券および案内状を株主名簿に記載のご住所宛に8月7日に発送済
⇒500株以上保有の株主には、「東京宝塚劇場 宙組貸切公演」および「宝塚大劇場 星組貸切公演」のペアチケットが当たる応募抽選券を1枚同封

※2025年6月末時点の株主名簿に記載または記録された当社株式100株以上保有の株主

■ 2025年12月期(6月末) Jトラスト株主優待(2種類)

内容	利用可能期間(開催予定)	金額	基準日	条件
美容クリニック等 施術優待券4種 [メンズ・レディース医療痩身・医療脱毛/ 美容皮膚/いびき治療/AGA治療等]	2025年10月1日(水) ～2026年9月30日(水)	メニューより20%OFF (全プランが対象)	6月末	基準日の株主名簿に記載かつ 100株(1单元)以上保有
宝塚歌劇 東京宝塚劇場 宙組貸切公演 [抽選により当選者を招待]	2025年11月29日(土) 15時30分開演	-	6月末	基準日の株主名簿に記載かつ 500株以上保有
宝塚歌劇 宝塚大劇場 星組貸切公演 [抽選により当選者を招待]	2026年1月10日(土) 15時30分開演	-		

DS CLINIC

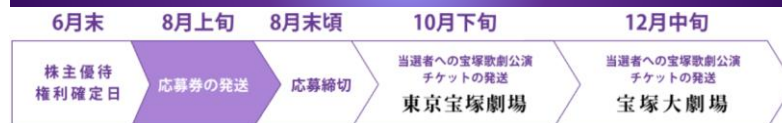


REGINA CLINIC

FREY-A
CLINIC

Stoile
REGINA CLINIC

宝塚歌劇貸切公演 応募抽選スケジュール



※応募方法等詳細につきましては、発送をもってご案内させていただきます。

宝塚歌劇貸切公演の詳細は当社HPをご確認ください。

【Jトラスト宝塚歌劇貸切公演(専用サイト)】
<https://www.jt-corp.co.jp/ir/jstock/yutai2025/>



©宝塚歌劇 ※写真は公演内容とは異なります

2025年12月期 IR活動の取り組みについて

- 当社の認知度向上および現状と成長ポテンシャルを発信すべく、全国各地で個人投資家説明会を実施。また、海外IR(機関投資家との面談)等のIR活動にも注力
- 6月7日、ログミーFinance主催の個人投資家向けIRオンラインセミナーに参加し、会社説明を実施

■ 個人投資家向けIRオンラインセミナー

YouTube JP 検索

logmi Finance

Jトラスト (8508)
専務取締役 執行役員 財務部門担当 熱田 龍一 氏
執行役員 財務部広報・IR担当 本部 英彦 氏

株主還元

3か年計画期間における配当性向

30%以上
+
累進配当
+
資本効率を意識した
機動的な株主還元

配当金および配当性向

20/12 21/12 22/12 23/12 24/12 25/12 26/12 27/12

0% 9.4% 9% 11.6% 31.4%

※2024年2月13日発表の自己株式取得を含む配当性向65.1%

増配に伴う配当を目標

31:00 / 5:02:08

Jトラスト(8508)/シナネンHD(8132)/ライフネット生命保険(7157)/エフ・コード(9211)/四国化成HD(4099)/井関農機(6310)【個人投資家向けIRセミナー】

個人投資家向けIRオンラインセミナーは、YouTube「ログミーFinance公式チャンネル」より、ご覧いただけます。

【YouTube】
「ログミーFinance公式チャンネル」



■ 個人投資家説明会の様子



大阪個人投資家説明会(6月3日実施)



札幌個人投資家説明会(7月3日実施)

個人投資家向け 会社説明会スケジュール

8月19日(火)	13:35~14:25	【東京】日経茅場町カンファレンスルーム ※LIVE配信でも視聴可能
8月27日(水)	13:30~14:20	【大阪】北浜フォーラム
9月9日(火)	13:00~13:50	【兵庫(丹波篠山)】四季の森生涯学習センター
9月19日(金)	13:30~14:20	【愛知(名古屋)】ウインクあいち
10月10日(金)	13:30~14:20	【福岡(博多)】JR博多シティ

IR活動の予定の詳細につきましては、順次HPやSNS等でお知らせいたします。

【HP】
Jトラスト公式HP(IR情報)



【X (旧Twitter)】
Jトラスト公式アカウント
@JTrust_kouhouir



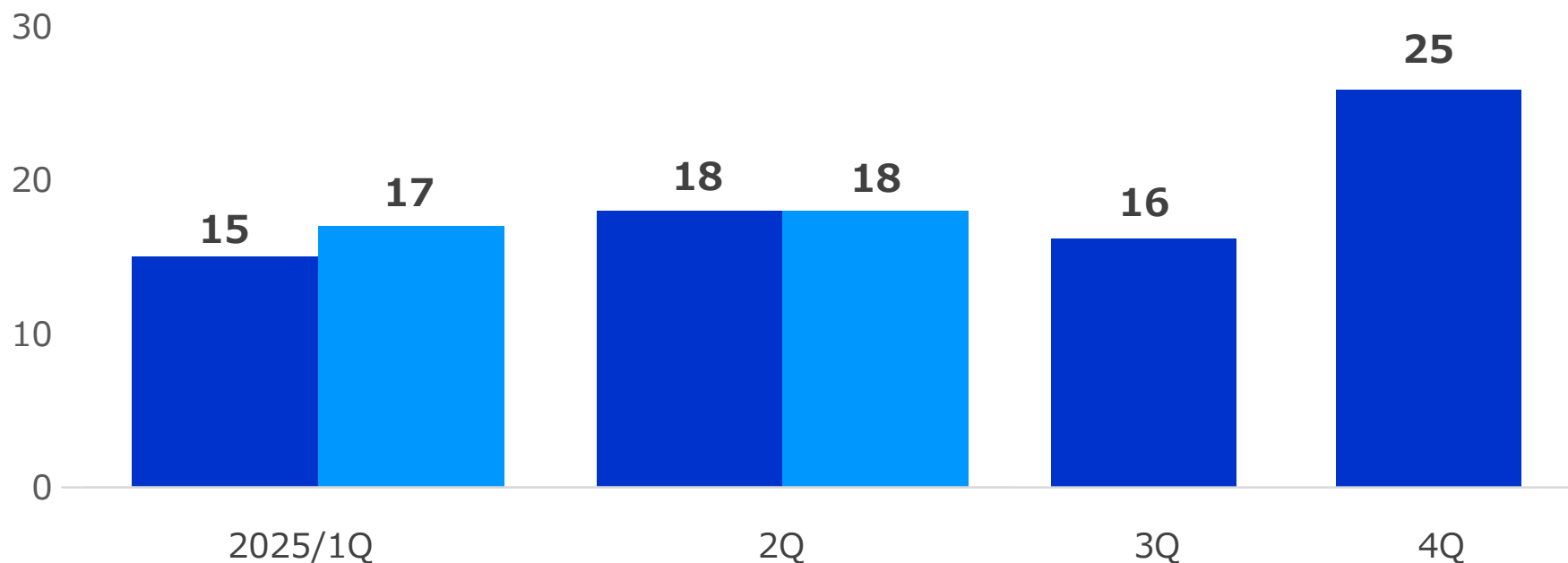
Appendix

2025年12月期 四半期毎のセグメント利益計画の推移 (日本金融事業)

➤ 第3四半期以降も計画通りに進捗する見込み

日本金融事業の営業利益計画と実績 (※)

(億円) ■ 計画 ■ 実績



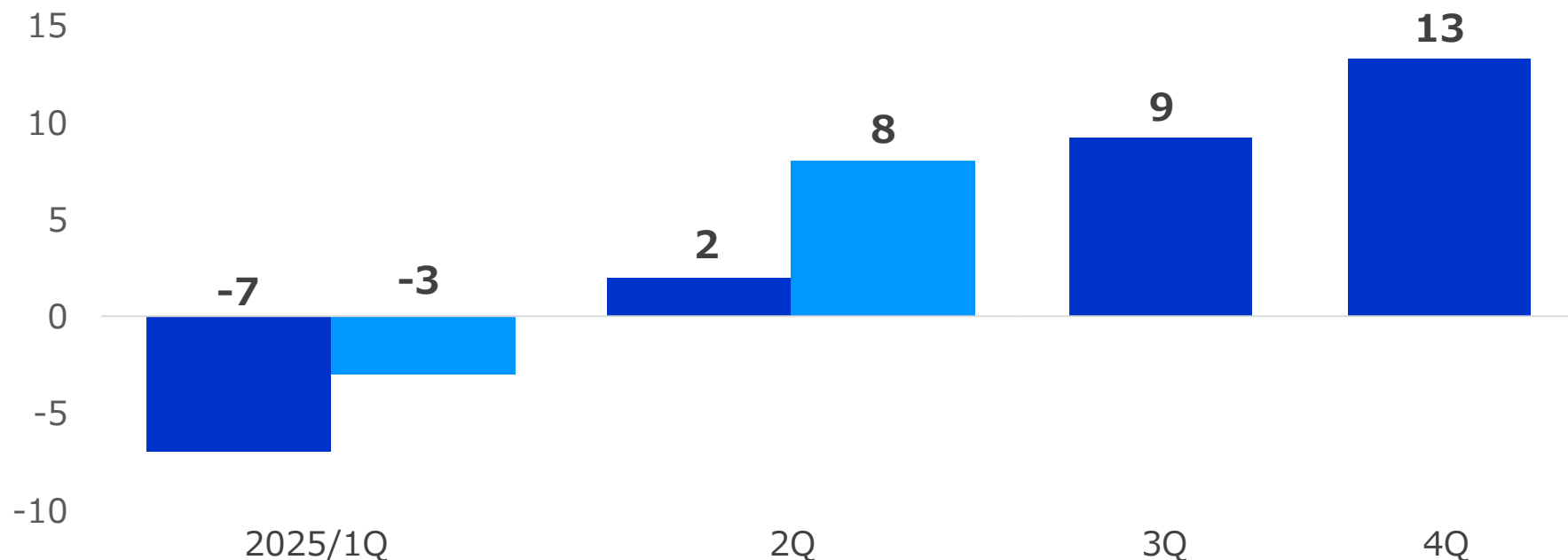
(※) 四半期会計期間

2025年12月期 四半期毎のセグメント利益計画の推移 (韓国金融事業)

- 2Q(4月-6月)の営業利益は、会計期間で計画値を6億円、累計で10億円上振れて着地
- 預貸スプレッドのさらなる改善や不良債権の抑制等により、業績が前倒しに回復

韓国金融事業の営業損益計画と実績 (※)

(億円) ■ 計画 ■ 実績



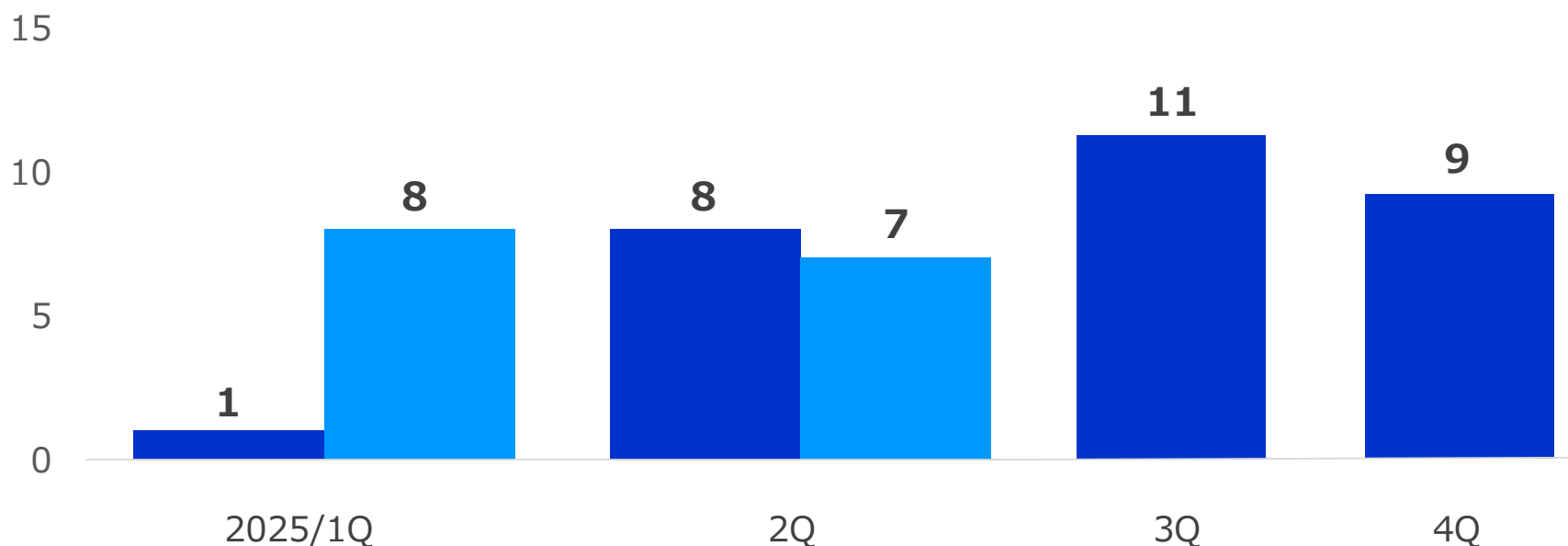
(※) 四半期会計期間

2025年12月期 四半期毎のセグメント利益計画の推移 (東南アジア金融事業)

➤ 2Q(4月-6月)の営業利益は、ほぼ計画通りで着地し、3Q以降は計画を据え置き

東南アジア金融事業の営業利益計画と実績 (※)

(億円) ■ 計画 ■ 実績



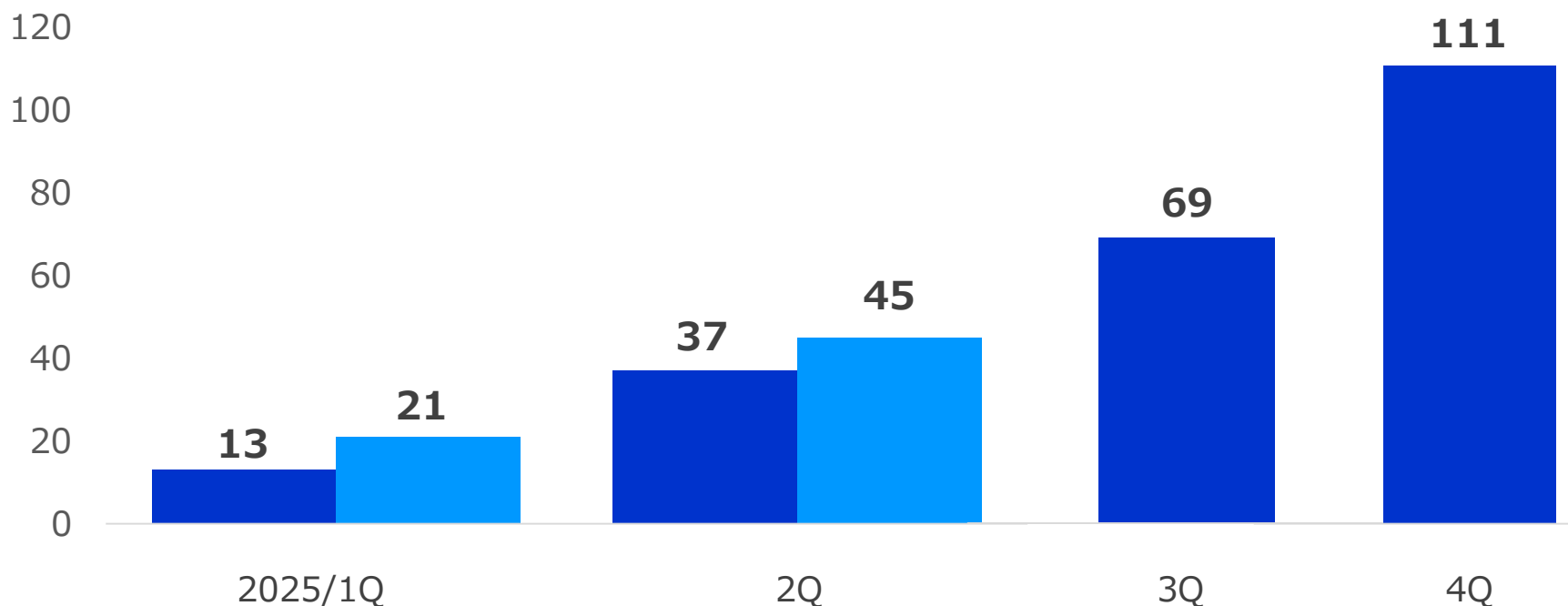
(※) 四半期会計期間

2025年12月期 四半期毎の連結営業利益計画の推移

- 営業利益は上期8億円の上振れで着地するも、下期偏重の計画となっていること等の理由から今後の様子を見ることとし、通期111億円の計画を据え置き

連結営業利益計画と実績（累計）

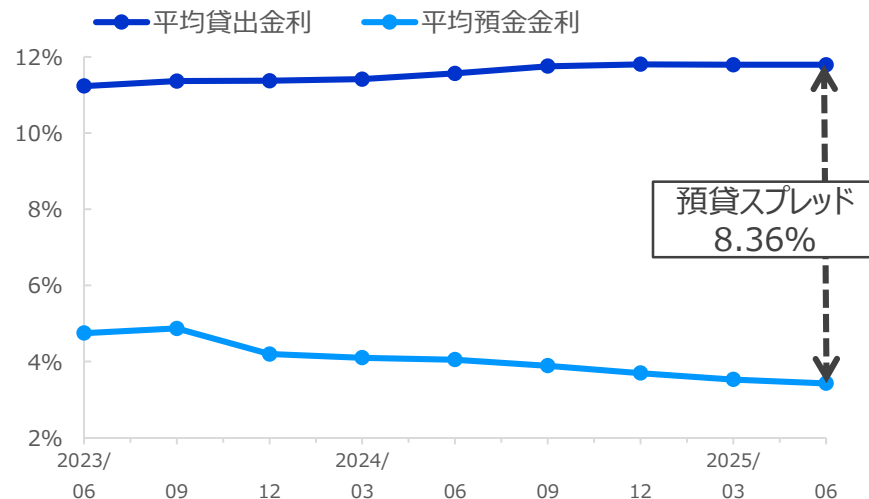
(億円) ■ 計画 ■ 実績



銀行業の預貸スプレッド（韓国の貯蓄銀行2行）

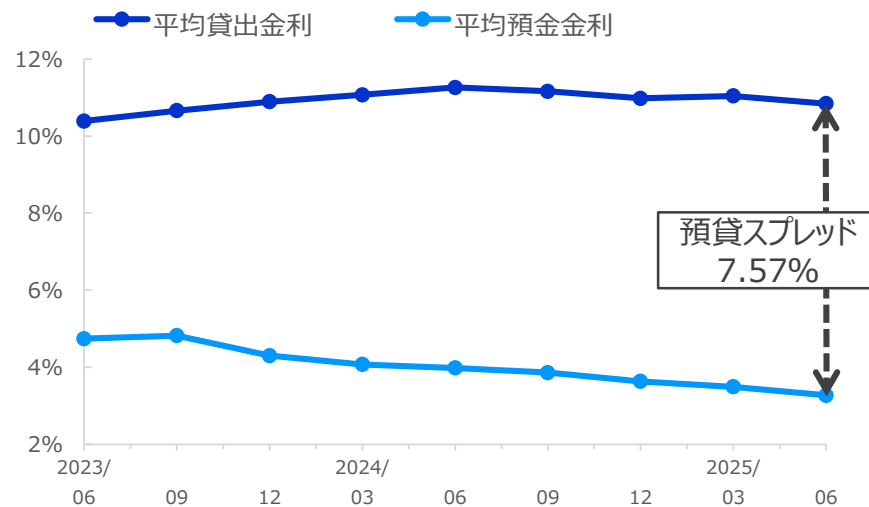
JT 親愛貯蓄銀行

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年6月	4.75%	11.23%	6.48%
2023年9月	4.87%	11.36%	6.49%
2023年12月	4.20%	11.37%	7.17%
2024年3月	4.10%	11.41%	7.31%
2024年6月	4.05%	11.56%	7.51%
2024年9月	3.89%	11.75%	7.86%
2024年12月	3.70%	11.80%	8.10%
2025年3月	3.53%	11.79%	8.26%
2025年6月	3.43%	11.79%	8.36%



JT 貯蓄銀行

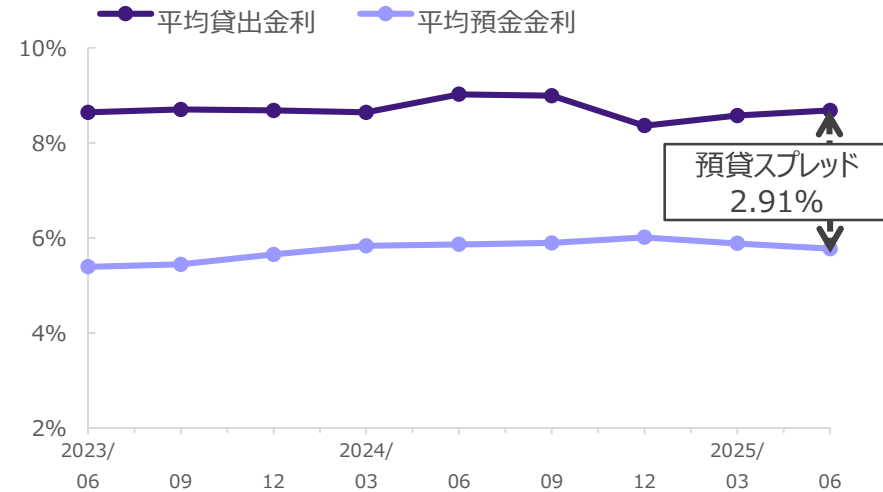
	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年6月	4.74%	10.39%	5.65%
2023年9月	4.82%	10.66%	5.84%
2023年12月	4.30%	10.89%	6.59%
2024年3月	4.07%	11.07%	7.00%
2024年6月	3.98%	11.26%	7.28%
2024年9月	3.86%	11.16%	7.30%
2024年12月	3.63%	10.98%	7.35%
2025年3月	3.49%	11.04%	7.55%
2025年6月	3.27%	10.84%	7.57%



銀行業の預貸スプレッド（東南アジアの銀行2行）

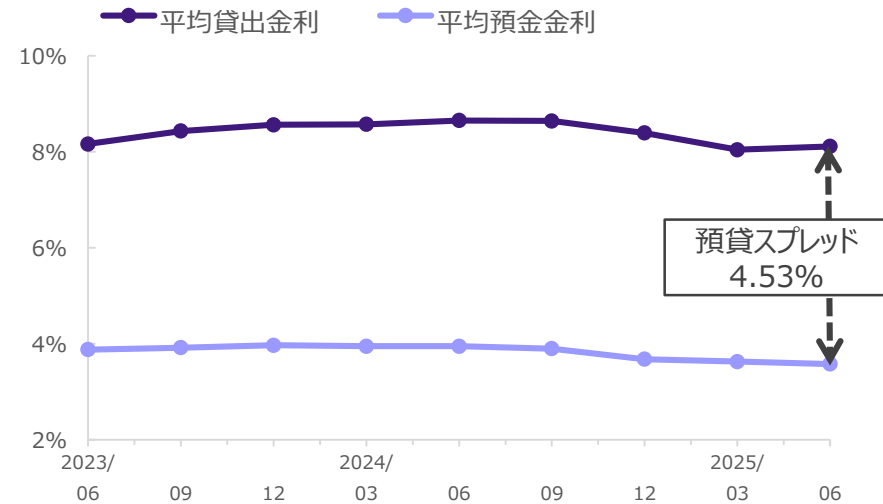
J TRUST BANK（インドネシア）

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年6月	5.39%	8.64%	3.25%
2023年9月	5.44%	8.70%	3.26%
2023年12月	5.65%	8.68%	3.03%
2024年3月	5.83%	8.64%	2.81%
2024年6月	5.86%	9.02%	3.16%
2024年9月	5.89%	8.99%	3.10%
2024年12月	6.01%	8.36%	2.35%
2025年3月	5.88%	8.57%	2.69%
2025年6月	5.77%	8.68%	2.91%



J Trust Royal Bank（カンボジア）

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年6月	3.88%	8.16%	4.28%
2023年9月	3.92%	8.43%	4.51%
2023年12月	3.97%	8.56%	4.59%
2024年3月	3.95%	8.57%	4.62%
2024年6月	3.95%	8.65%	4.70%
2024年9月	3.90%	8.64%	4.74%
2024年12月	3.68%	8.39%	4.71%
2025年3月	3.63%	8.04%	4.41%
2025年6月	3.58%	8.11%	4.53%



Jトラスト銀行インドネシア トピックス

- Jトラスト銀行インドネシア所属の高野愛姫選手が、6月6日から6月8日に日本で開催されたJLPGAツアー「ヨネックスレディスゴルフトーナメント2025」にて、大会最年少記録20歳267日で初優勝
⇒ 高野愛姫選手は同行ロゴ入りのウェア等を着用し、ゴルフツアーへの出場や同行イベントにも参加
- サッカー元日本代表の本田圭佑氏主催の「4v4インドネシアカップ2025」にメインスポンサーとして参加
⇒ イベント当日、専用ブースで口座開設した方には、本田圭佑氏のサイン入りユニフォーム等が当たるイベントを実施



高野愛姫選手ゴルフツアー初優勝時



4v4インドネシアカップ2025

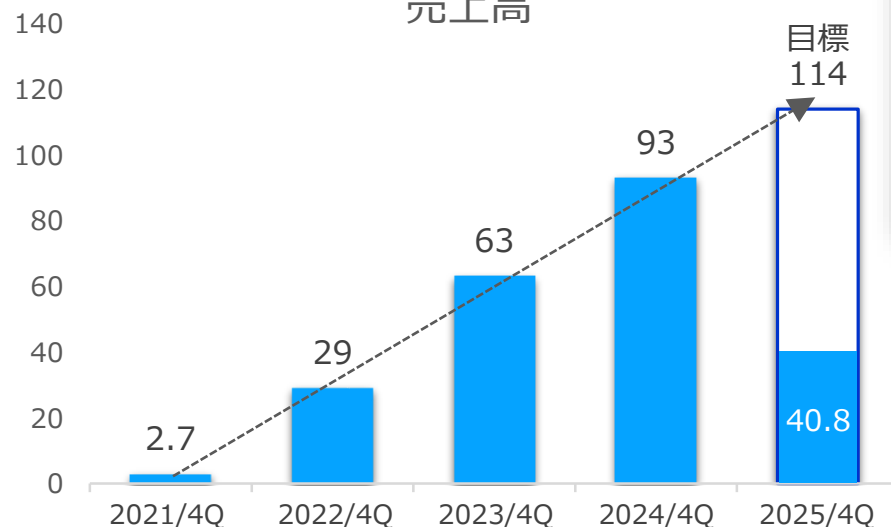
不動産事業の取り組み



- 民泊併用レジデンス「J-ARC新宿／民レジ」運用開始
- 不動産特定共同事業 第1号事業・3号事業（電子取引業含む）許認可取得
10月上旬ファンド組成予定

(億円)

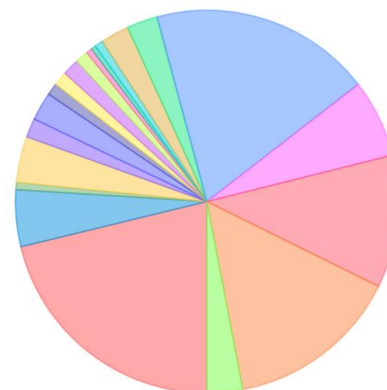
売上高



民泊併用レジデンス J-ARC新宿

初月実績(2025年7月末)
 ・平均宿泊日数 5.58日
 ・稼働率 95.81%

■【民泊併用レジデンス】宿泊者国別傾向



アメリカ合衆国: 4.8%	フランス: 0.4%
イスラエル: 0.6%	ブラジル: 0.7%
オランダ: 3.9%	プーベ島: 2.4%
キルギスタン: 1.6%	ベルギー: 2.6%
シンガポール: 2.4%	中国: 18.7%
スイス: 1.0%	台湾: 6.6%
スペイン: 1.2%	日本: 11.2%
トルコ: 1.4%	韓国: 14.7%
ドイツ: 1.1%	香港: 3.0%
ノルウェー: 0.5%	その他の: 21.2%

シリーズ	今期販売予定物件／概要		今期販売予定物件／概要	
J-ARC 新築マンションシリーズ	新宿	民泊併用レジデンス	三軒茶屋Ⅲ	RC造 地下1階地上3階 7戸
	板橋本町	RC造 5階 8戸	下北沢Ⅰ	RC造 4階 7戸
	恵比寿Ⅱ	RC造 地下1階地上3階 11戸	蒲田	民泊併用レジデンス
	道灌山	RC造 5階 10戸		
J-Maison 新築アパートメント シリーズ	獨協大学前	木造 3階 12戸	越谷	木造 3階 12戸
	北戸田Ⅰ	木造 3階 12戸	淵野辺Ⅱ	木造 3階 15戸
	北戸田Ⅱ	木造 3階 9戸		

不動産事業の取り組み

- 今期はマンション分譲事業の安定的な仕入れおよび分譲に注力し、業績達成を目指す
- 「グローバル立川プレミアム」、「グローバル浦和常盤 ザ・パークス」とともに竣工までに完売できる見込み
- 2025年7月、埼玉支店開設
⇒今後の市場開拓が望める、埼玉エリアに注力し、事業を拡大することを目的とする

■販売中物件（集合住宅）



グローバル浦和常盤 ザ・パークス

「東京浦和北線」北浦和駅徒歩4分 | 埼玉近代美術館を臨む北浦和公園徒歩2分 | パークビュー & 富士山ビュー | 角住戸率 66%超 | 駅と大型公園（約3.5ha）に寄り添う、地上13階建のコンパクトレジデンス[®]

■販売実績（集合住宅）



グローバル
東京府中サクチュアリ



グローバル
国立ザ・スイート



グローバル
本八幡プレミアム

物件販売状況は、グローバルズのHPやInstagramよりご案内しておりますので、ご覧ください。



【グローバルズHP】



【Instagram】

